

生活の逼迫

職工よりは雇員の方が甚い

賃銀問題は略満足を得られやう

作業時間問題は一寸返答出来ぬ

今後も態度を變更する必要はない

密に歸任した白仁長官は語る

八日夜密かに八幡に歸れる白仁長官は九日午後記者の強

ての面會に悄然として語る

今回の事件は全く上京中なりしき職工の從來の運動に致しコンナ大

事件を惹起しやうとは思はなかつた、尤も一部の労友會員である職

工中多少不穏の言論を唱へてゐたは存じて居たが眞逆コレ

當局は労働問題の喧しい折柄此の場合に随へ種々職工の待遇に

就ては攻撃中であつて職工各自の滿足を得る程度の豫算は既に議論

に上程し通過も程近きに拘らず一部頑冥なる徒の煽動により此大事

件を起したのは返すゝも殘念である、併しあきたとは仕方がない

責は私が當然負ふ又中川次長が最初面會を拒絕し

たのも職工の待遇に就き一方では賃金を與へ一方では與へぬといふ

バランスを失して居る事や運営實務の手に依つて職工を厭

迫するに至つたのも當然の處置である

私は職工の待遇が諸他の官僚に對して悪いとは思はない

六十歳の米其家一族の數に應じて四十八錢乃至卅八錢に割合して賃

り又生活をも堪供して官舎の如きは前述に花卉を栽培する餘地あり亦彼等は贅澤な衣類を着用するのみならず

衆議院の選舉権を有する者も四百名の数及び

生活の逼迫は寧ろ雇員等の下級判

愈々持久戦

製鐵所側は多數の寝具を搬入して備へつゝあり

警官側には不平の聲

八幡製鐵所

作業振舊に復す

職工は自重の態度を執りて

諸機關の運轉亦た整然たり

唯警戒のみは依然嚴重

人心沈靜

九月作業を開始せる八幡製鐵所は時間の經過と共に漸次盛況

九月一日さる處なく十日朝も交替時間には一萬五千の職工職夫入場して全工場平常通りの活動を開始しつゝあり、前夜迄同

罷業の餘波を受けて休止の状態にありし構内無數の運搬用ケーブルカーラを始め材料運搬道も亦一齊に運行を始め作業狀態殆どして何等の缺陷なきものゝ如きも

警官憲兵の警戒は依然として物々しく恰も職場に於ける假設軍事的の態あり(八幡本社)

任官が苦しいのである、現在官舎も三千戸に及んで本年中に

は更に八百戸を達成することになつて居る併し彼等全部を容るには

百戸強を要するし豫算の關係もあり又之を建築するに就ても時日を

要する、賃銀の問題は議會を通過するから彼等の満足を得

得ることが出来ると思ふ

作業時間問題も政府に於て目下

研究中で他者の振合之上之亦オソレと返答が出来ない、警戒の手は

精神的意象狀態の平常に復するまではドウする譯にも行かぬ此間に

職工の反感を高めるかも知れぬが今は考慮の餘地

がない、今後職工に臨む態度は急に變更する事を認めない、

賃銀は一錢五十六銭十二銭五十銭といふ賃銀を提出するやうな事件を惹起したといふのは返すゝも殘念である云々